



一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会 通信Vol.5

益田グローバルヘッドクォーター（Global Headquarters）

〒698-0024 島根県益田市駅前町17番1号 EAGA 産業支援センター内 2020/11/09

一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会(MCSCC)では、様々な普及広報活動を行っています。今号では、国際会議出席や学会での発表、出版活動、メディアへの掲載について紹介します。

日ASEAN・SCNハイレベル会合で報告

2019年10月8日、国土交通省の主催(協力:外務省・総務省・経済産業省・環境省)により横浜市で開催された日ASEANスマートシティネットワークハイレベル会合に、島根県益田市で取り組んできた水位計についての報告が求められ、MCSCC豊崎禎久専務理事(当時。現・代表理事)と益田市役所の建設部下水課長の両名が参加して水・防災をテーマに講演を行いました。今年と同ハイレベル会合にも要請があり、参加する方向で調整しています。



(会議机正面右より2人目豊崎代表理事)

日経グローバルに益田の取組掲載

2020年6月1日刊行『日経グローバル』(No.389)は「スマートシティの整備本格化」を特集し、MCSCCの益田市における取組が取り上げられました。『日経グローバル』は、日本経済新聞社が編集・発行する地方創生・地域経営の専門誌。地方自治体職員や地方議員に広く読まれています。



『日本版シリコンバレー創出に向けて』刊行

2020年10月31日、MCSCC豊崎代表理事と中川有紀子顧問(立教大学大学院ビジネスデザイン研究科教授)ほか執筆する書籍『日本版シリコンバレー創出に向けて』がナカニシヤ出版から刊行されました。深圳から学ぶエコシステム型イノベーションという副題どおり、中国のテクノロジー進化を冷静に分析した内容となっています。日本人にあまり知られていない未来都市の全貌が描かれた一冊です。

(その他の執筆者/大高英昭(パナソニック副会長執行役員)/石澤義治(経済産業省コンテンツ産業課)/金堅敏(富士通グローバル戦略企画部門チーフデジタルエコノミスト)/梅澤高明(A.T.カーニー日本法人会長、CIC Japan会長)/杉田定大(日中経済協会専務理事)/野辺継男(インテル ディレクター及びチーフサービスアーキテクト)[敬称略]



日経コンストラクションに益田の取組掲載

土木・建設関係者向け『日経コンストラクション』(2020年8月24日号)は「再挑戦のモニタリング」を特集し、MCSCCが益田で取り組んでいる道路モニタリングが取り上げられました。「長期にわたって使い続けられる技術」が特に注目されています。



土木学会全国大会で水位計の発表

2019年9月3日、土木学会全国大会にてMCSCC桜井宏監事(三重大学社会連携特任教授)が益田スマートシティプロジェクトに運用中のLPWAと簡易水位計タイプ1に関する論文を発表致しました。

MCSCC豊崎代表理事(元慶應義塾大学大学院特別招聘教授)も論文の共著者になっています。